

令和2年度補助金等年次報告書

番号	補助金等の名称	補助事業者の 氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の 内容及び結果	担当課名等
1	上野天神祭のダンジ リ行事継承事業交付 金	上野文化美術保存会 伊賀市上野新町271 4	4, 558 千円	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の縮小を余儀なくされたが、そのような状況下においても、感染対策等工夫を凝らしながら、鬼・だんじりの展示等を実施した。 さらに上野天神祭の冊子を再編集し発行するなどの情報発信にも取り組み、郷土文化の振興と伝承を図った。	事業の進捗等をヒアリング等で把握するとともに、事業実施後に実績報告書の提出を求め、内容が適切かどうかを確認した。	文化交流課
2	伊賀鉄道株式会社運 営補助金	伊賀鉄道株式会社 伊賀市上野丸之内6 1-2	111, 800 千円	1年間を通して、伊賀線の安全安心で安定的な運行を実施できた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けたため、営業損失額の目標額と実績の差は前年度よりも拡大し、収支目標は達成できなかった。	四半期ごとに会議を開催し、伊賀鉄道株式会社の決算見込みや、経営改善のための取り組み状況等を確認したところ、適切に事業が実施されていた。	交通政策課
3	伊賀市社会福祉協議 会職員設置等事業補 助金	社会福祉法人伊賀市 社会福祉協議会 伊賀市平野山之下3 80-5	76, 139 千円	社会福祉関係団体や地域関係者等と連携し、様々な活動を実践し、地域福祉推進に努めた。	補助金の支出にあたり、実績報告書を確認したところ、適切に事業が実施されていた。	医療福祉政策課

令和2年度補助金等年次報告書

番号	補助金等の名称	補助事業者の 氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の 内容及び結果	担当課名等
4	障がい児保育対策事業費補助金	社会福祉法人伊賀市 社会事業協会 伊賀市朝屋739-2	6,463 千円	心身に障がいをもつ就学前児童を対象に、発達の促進を図るとともに、社会生活の円滑な参加と健全な成長を促進することを目的として個別的専門的療育的保育を行った。 療育保育を実施するにあたり必要となる臨床心理士、理学療法士、言語聴覚士、医師、看護師、保育士等専門職員を必要に応じた配置をした。 児童の発達特性に応じた成長の促進や障がいの軽減が図られ、補助金額に比する効果が大きい。	対象児童の保育観察及び審査会を2回実施し、療育保育の必要性を認定した。 書類内容については、必要に応じて事業者に聞き取りを行った。	保育幼稚園課
5	優良素牛導入助成金	いがほくぶ和牛肥育 部会 伊賀市平野西町1-1	7,500 千円	伊賀牛の飼養頭数の増頭を進める取り組みを行う中で、銘柄牛(伊賀牛)の優良素牛導入に対しての助成は、補助金額に見合う効果があった。	立入調査に代わり、補助事業者から書類を提出させ、適正に事業が行われているか確認したところ、適正に事業が実施されていた。	農林振興課
6	商工会事業費補助金	伊賀市商工会 伊賀市下柘植723-1	26,500 千円	補助金の交付により、円滑に事業が実施された。 商工業者の経営支援や地域活性化のための様々な事業が実施され、創業支援事業では令和2年度に創業者4名を輩出することができるなど、商工業の育成・振興の面で補助金額に見合う効果があった。	立入調査に代わり、事業実施後に実績報告書の提出を求めた。 実績報告書の内容を精査したところ適切に事業が実施されていた。	商工労働課

令和2年度補助金等年次報告書

番号	補助金等の名称	補助事業者の 氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の 内容及び結果	担当課名等
7	施設管理運営補助金	公益財団法人伊賀市 文化都市協会 伊賀市西明寺3240 ー2	16, 617 千円	補助金の交付により、地域産業創 造センター「ゆめテクノ伊賀」の円滑 な運営管理を行うことができた。 その結果、産学官連携による環境・ 薬品・文化等に関する共同の研究 開発、起業の支援及び地域文化力 の向上に資する事業に取り組むこと ができ、地域産業振興の面からも効 果があった。 また、年度内に2度、地域の子ども を対象とした研究イベントを実施し た。	適宜訪問し、相互に連絡調整及 び報告を行った。 事業実施後に実績報告書の提 出を求め、内容を精査したところ 適切に事業が実施されていた。	商工労働課
8	シルバー人材センタ ー高年齢者就業機会 確保事業費補助金	公益社団法人伊賀市 シルバー人材センタ ー 伊賀市西明寺2782 ー92	15, 231 千円	補助金の交付により、センターの円 滑な運営及び事業実施を行うことが できた。 その結果、令和2年度シルバーの 受託事業と派遣事業の総契約額は 442, 010千円で、対前年度比9 2. 5%の実績となったが、高年齢者 の就業機会の確保や地域社会への 貢献といった面からも補助金額に見 合う効果が十分にあった。	立入調査に代わり、事業実施後 に実績報告書の提出を求めた。 実績報告書の内容を精査したと ころ適切に事業が実施されてい た。	商工労働課